



地域の伝承文化事業を**子供たち**が体験し、**郷土愛**を育む！

【事業の背景】核家族化が進み地域社会の繋がりや支え合いが希薄になる中、子どもの地域での活動が、地域への愛着心を高め、自己肯定感の向上を促すことから、学校と地域が連携・協働し、子供も大人も成長し合える地域づくりを目指した。

	<p>(美咲町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産物、米、小麦の粉碎を体験し、 ～手づくりうどんづくり～を地域に学ぶ！  <p>【連携した団体】吉岡地区加工等研究施設、公民館、小学校、PTA</p>	<p>(児島地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで学ぼう地域の歴史と仕事！ ～歴史ある帆布を使って～  <p>【連携した団体】社会福祉協議会、歴史保存会、公民館、小学校、PTA</p>
<p>具体的な事業内容</p>	<p>地域の特産物（米、小麦）を知ってもらい、加工センターで粉碎し、実習。ナイロン袋に一人前の粉碎した粉、水、塩を入れよく捏ねる→袋のまま足で踏んで寝かし、こしのあるうどんをつくり、試食。</p>	<p>まず、地域の歴史、帆布の歴史、一輪の綿花から糸ができて、布になる過程を学び帆布の作品等の照会より、コースターやウォールポケットに絵の具やマーカーペンにデザイン画を描く。(帆布を身近に感じてもらう)</p>
<p>成果と効果</p>	<p>食を通じて、楽しみながら食事をとることや美咲町の産物である、米、小麦の粉碎や調理実習を体験することで、豊かな人間性の育成や地域に伝わる郷土料理、食事作法等の継承が培われた。</p>	<p>「一輪の綿花からはじまる倉敷物語」一本の綿花から糸ができて、製品になる工程等学び体験したことで、その繊維のまち帆布発祥の工場が、わがまちにあり、この地区に生まれた自分に誇りを持ち、郷土愛を育むことができたと思う。</p>
<p>アンケート等の結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が住んでいる地域の特産物を知ることができた。特産物を使って、うどん以外にもチャレンジしたい。 ・はじめて、うどんづくりが体験でき、参加してよかった。 ・棚田が有名な訳が分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史を学ぶことができた。 ・日本だけでなく世界に発信している帆布に驚き、そんな地区に生まれた自分を誇りに思う。 ・作品づくりを体験したことで帆布に興味が増えた。 ・保護者からも貴重な体験ができた。
<p>次年度以降の改善点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みを利用したため、稲刈り等の体験が出来なかった。田んぼ等での収穫体験をすることで、より地産地消のイメージがより鮮明になると思った。 次回、時期を変えて実施しようと会員から提案があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、対象を3～6年生としたが、コースターであれば、低学年でも出来ると思った。 次回は、対象を低学年も含む小学生を対象を広げようという意見が出た。 ・工場見学等、実際に体験することで、より理解度が増すと思った。

※今後も、**地域の母**として、

その地域の特性を活かした事業を展開し

郷土愛を育んでいきたい！